

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		80	20	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価をする。教科書ならびに配布プリントから出題し、理解度を問う（筆記試験、80%）。				必要に応じて解答を提示し、解説を行う。	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	提示症例に対して治療プログラムの立案、効果判定まで行い、理学療法のプロセスの理解度を問う。レポートはレジюме形式とし、まとめ方は講義時に提示する（20%）。				15 回目に、統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察について模範レポートを提示しながら解説していく。	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	駒形 純也							
教員の実務経験	全ての教員が理学療法士として 5 年以上の臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	ペーパーシュミュレーションにて症例提示をする。また担当教員が実際に担当した症例を通して学んだ治療の視点・工夫などを提示する。							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 第 9 回～第 12 回の講義では PC を使用する。 授業時のフィードバック、意見交換は授業時間内およびオフィスアワー内に実施する。 受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生は退室してもらう。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。 問題がある場合は対面授業の参加は認めない。 シラバスの内容は、今後の新型コロナウイルス感染症の状況と授業の進行状況等を考慮して一部修正することがある。 							

